

ボランティア体験記

今回はボラの体験で感じたことや気持ちを詩にしてみました。

.....

ボランティア・エレジー

誰かのためは 自分のため
それがボランティアのセオリー

ボランティアは 全部 ただ

お金をはらわなくても いい
交通費さえ だせばいい
なによりも人件費のコストカットができるしね
きっとそう
偉い人ほどそう思っているわよね

でも
ただより 高いものはない
だって時は金なりというでしょう？

たとえ 月一の活動であっても
施設のことも考えて 利用者さんに喜んでいただくには
沢山時間をさいて用意をしないとイケないし
それは他の活動と同じです
でもね、用意のためにお金だって沢山自腹を切るんです

ボランティアは縁の下の力持ち

私たちが根っこなら
スタッフさんは幹であり枝であり
利用者さんはお花でしょうか

でもね 水がないと生きていけないように
根っこことと同じです

たまには ありがとうって ねぎらいという水が欲しい
でも それは たまでもいい

なぜかといえば
根っこゆえ伝わってくる
スタッフさんの苦勞、喜び、利用者さんの孤独や微笑み

そして見えてしまう
偉い人のエラー、かかえてしまう心のフリーズ

簡単に言うと、全ての手柄は自分のものっていうことよ

でも私たちはボランティア
立場はそれ以上でも以下でもなく ただの根っこ

でも きれいなお花が咲くと嬉しい
幹がしっかりだと安心 枝や葉っぱも沢山生やしてほしい

誰かのためは 自分のため
黒子であっても根っこであっても何物にも代えがたい充実感
それがボランティアの栄養

それがボランティア

それがセオリー